



社会新報

(岡山県連合版)

2012年11月1日
(毎月1日発行)

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水曜)
〒100-8909 東京都千代田区永田町1-8-1
TEL03-3592-7515 1部180円月700円〒160

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

発行責任者 武本恒夫

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: sdp_okayama@helen.ocn.ne.jp

岡山知事選を終えて

10月28日、新しい岡山県知事が決まった。投票結果は次のとおり
当選 伊原木隆太 358,564
一井あきこ 188,089
大西幸一 33,577
山崎俊一郎 13,893

投票率 38.64%
党岡山県連合は、石井県政4期の総括と①憲法を活かした県政②働く人々をはじめ、子どもや女性・高齢者にやさしい県政、の基本認識で臨んできた。「決められない国会により政治不信がまん延している。そのことが新人対決でありながら、知事選の投票率を低下させたと思う。地方交付税の遅延、補助金の未決裁など国の裁断を待つ政治をいつまでも続けさせてはならない。国の政治に左右されることがない真の地方分権の確立に向けて、県民の意見を反映する県政運営を期待する。働く人々や高齢者、子どもたちの生活の安心のために、人と環境にやさしい県政を追求してもらいたい」
(党県連合代表・福島捷美)

岡山県連合は、福島代表以下3役、常任幹事による党選対委員会を結成、1、5各支部連合は6月以降、県内に宣伝車を走らせ訴えてきました。具体的には、県下の各労組への推薦要請に廻り、すでに9団体から比例区社民党の推せん決定をいただきました。また、「政策ピラ」5万枚を配布のため、統一行動日として11月の土日・午前午後

野田内閣は、内政・外交などに行き詰まり、ただ政権にしがみついているだけで、支持率が低落、政権末期の様相です。だからこそ衆院を解散して民意を問い、新しい政権の下で政治を動かすことが求められます。今度の選挙は国民生活無視の民自公を許すかどうかの国民投票です。

衆議院議員選挙に全力を

臨時国会が10月29日、開催された。所信表明演説が憲政史上はじめて参議院で行われたという、これを早く解散し、政治を国民の手に取り戻しましょう(福

「故 水田稔氏を偲ぶ会」

10月27日(土) えきまえミヨシ



に1回以上の参加を要請し、各支部独自のピラ配布行動の取組みもお願いします。選挙カンパについては、すでに多くのご協力を頂きました。またの場合、改めて子どもたちの未来と党の歴史・存在が問われる選挙であるとして、ぜひご理解をいただき、3たびのお願いです。

8月に亡くなられた故水田稔氏の「偲ぶ会」をやること旧2区の仲間の声が、党県連合の取り組みとして実現しました。当日、一緒に戦ってきた党員のほか、選挙を支えた水島の労組の仲間、お隣香川県からも参加など60名近くが参加しました。夫人の英子様、子2人のご遺族もご出席いただき、旧知の交流を深めることができました。

「偲ぶ会」事務局長の藤原清光さんのあいさつで開会、西平さんの司会で進行し、党中国ブロック代表の金子哲夫さんは「参院選を戦ったとき倉敷で雨の中迎えていただき

金子哲夫と語る 政治学習会

いま、なぜ改憲か、憲法の基本理念を活かすのでなく、改憲のうごきの背景にあるもの私たちの役割を考える。



とき 2012年11月10日(土) 14時～
ところ 岡山勤労者福祉センター(岡山市役所)
岡山市春日町5-1 086-226-1234

一緒に回ったこと、自らの競争体験から一貫して反戦・平和を訴えた水田さんの意志を継ぐのは社民党しかない」と次の衆議院選への決意を語りました。香川県から参加の加藤繁秋さんは、国会ではいつも「やあ加藤くん」と声をかけ、ご馳走してもらったり後輩を気にかけていたことなど水田さんの人柄が伝わる話、選挙を支えた東鉄労組OBの上野さんは「今度、僕(故人)の操縦で水島の空を飛んでみよう」という約束した秘話も紹介されました。

参加者も次々とマイクを握り、故人との思い出などを語りつぎ、「平和と民主主義」周りに人に寄せる暖かさ、議員を辞めた後も一貫して生きた故人の人柄を語られました。ご遺族も、話される人を見ながらじつと聞き入っておられました。

会場では、水田氏の生前の活動の記録写真が置かれ、スクリーンには、いまはなつかしい顔が並ぶ国会代表質問の水田さんの姿のDVDが写されていました。最後にご子息の水田充さんがお礼のお気持ちを語られ、予定外の参加者との記念写真を撮り、故人の意思を引き継ぐ決意をもって散会しました。



「新報」読者会
11月14日(水) 18時

弓之町「時事問題懇話会」
11月16日(金) 18時

いずれも同じ場所
社民党県連合会議室

今年も根室から 昆布をお届けします
ねむろ長切りコンブ 200g 千円

*ご注文は支部・県連合まで
11月7日(水) 18時

党県連合選挙対策委員会

政 治の危機が言われ、われもと新党が名乗りをあげているが、裏を返せば既成政党への不信であり、理念の欠如でもある。もう一つの危機は政党そのものだ。憲法放棄の新党や維新を掲げるがマスコミ受けだけの新党など話題性にはいとまがない。自民・安倍総裁は自著『美しい日本』の中で「不適格」教員?の排除を公然と述べ、戦前教育への回帰すら想起させる。「美しい」本質が自分の気に入るものだけに跡には廃墟だけが残る。▼「美しい日本」を守るために戦争を準備するのではなく、そこに生きる人々に想いにくく政治理念が求められる。人が住めなくなる原野にも同じことがいえよう。(の)